

第74期 報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

輝く未来の創造「メーカー商社」として
世界の産業界に貢献します。



事業紹介

商品

圧力発生機

プランジャーポンプ

高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として
利用



応用機器・システム商品

ロッキーワッシャー

多用途の高圧水洗浄機



金属接合機 (TOX)

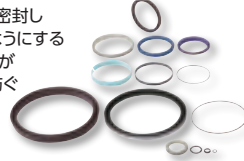
異種金属板を
接合する機械



付属機器・部品

オイルシール類

高圧の水・油を密封し
外に漏れないようにする
外部からダストが
侵入するのを防ぐ



関連技術商品

三方ピストン弁 (ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を
調整する弁
主にタイヤメーカーの
加硫機に使用

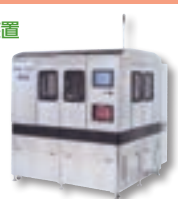


製品

応用機器・システム製品

フラックス精密洗浄装置

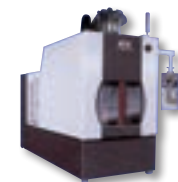
半導体新製品 (CSP、
BGA等) の製造工程に
使用されるフラックス
を除去し、純水にて精密
仕上げ洗浄を行う装置



付属機器・部品

グリーンルーム対応ロータリージョイント

半導体業界で、CMP設
備などに水や研磨剤な
どを供給する回転継手



NC高圧洗浄機
(ジェットフレックス)
自動車業界向けの、高
圧水を利用した部品の
深穴の金属バリ取装置



工作機械用ロータリージョイント
マシニングセンタ
でクーラント液を
スピンドルから噴
射する用途に使用
する回転継手

営業区分

リックスはお客様のニーズに
迅速・的確に対応できる顧客
密着型の「メーカー商社」と
いう業態です。

鉄 鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環 境

紙パルプ

その他

商社機能

メーカー機能

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症に罹患された方ならびにご家族・関係者の皆様へ、
謹んでお見舞い申し上げます。また、医療従事者をはじめ感染防止にご尽力されて
いる皆様に深く感謝申し上げます。

この状況が一日も早く終息し、皆様の安心安全が守られた日常が回復されます
ことを心より願っております。

さて、当社第74期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)における業績の
とりまとめを終えましたので、ここに第74期報告書をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し
上げます。

代表取締役社長 安井 卓

課題解決型の「メーカー商社として」 世界の産業界に貢献します。

Q 当期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は2.6%増の432億46百万円、
営業利益は9.9%減の25億77百万円、経常利益は
9.8%減の27億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は
13.7%減の18億26百万円となりました。

当連結会計年度における世界経済は、米中間の通商問題や、
米国とイランとの対立による地政学リスクの増加、中国経済の
減速、新型コロナウイルス感染症の世界的な広がり等により、
景気の先行きに不透明感が増えています。

一方、日本経済は、個人消費や設備投資、公共投資などの
内需は底堅く推移しましたが、外需の不振に伴う生産の停滞や、
地政学リスクの高まりによる円高懸念、新型コロナウイルス
感染症の影響など、世界経済同様に先行きの不透明感が一層
高まりました。

このような経済環境の中、当社グループでは昨年度に引き
続き、中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」に基づく施策に取り
組んでまいりました。

Q 当期のセグメント別事業の概況について教えてください。

A 厳しい状況の中で各セグメントとも一定の売上ラインは達せたものと捉えております。

鉄鋼業界では、鋼管試験材採取自動化設備や解体機、ストレーナ、油圧シリンダーの受注が好調で売上増に貢献しました。この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は135億9百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

自動車業界では、自動車部品メーカー向け接合装置や洗浄装置の引合いが強かったものの、自社洗浄装置やポンプ、フィルター、工作機械業界向けの自社継手製品の落ち込みが大きく、前年同期の実績を下回る推移となりました。この結果、自動車業界向け全体としての売上高は116億5百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

電子・半導体業界では、半導体メーカー向け加工部品やメンテナンスサービスの引合いが強かったほか、シール類の販売が伸長したものの、自社洗浄装置やフィルター等消耗品の受注が落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は40億53百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

ゴム・タイヤ業界では、国内タイヤメーカー向けに計量装置や

検査装置、検査機を受注したものの、タイヤ加硫機用バルブの受注落ち込みのカバーには至らず、前年同期の実績を下回る推移となりました。この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は29億62百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

高機能材業界では、化学メーカー向けで変電所水処理設備や、プラントメーカー向けで設備改造整備を受注したほか、ポンプ類や逆浸透膜の販売が伸長し、前年同期の実績を大きく上回る推移となりました。この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は25億74百万円(前年同期比65.8%増)となりました。

環境業界では、発電所向けで集塵機や軸受部品、環境関連装置メーカー向けのポンプを受注したほか、フィルターやジャバラの販売が伸長しましたが、大型案件の受注に乏しく、前年同期の実績を下回る推移となりました。この結果、環境業界向け全体としての売上高は15億45百万円(前年同期比15.6%減)となりました。

紙パルプ業界では、製紙会社向けに溶解装置や照明器具を受注したほか、ポンプ類やシール類の販売が伸長し、売上増に寄与しました。この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は9億37百万円(前年同期比28.4%増)となりました。

Q コーポレート・ガバナンスの強化について教えてください。

A コーポレート・ガバナンス強化の一環として「指名報酬諮問委員会」を設置いたしました。

当社ではこの4月より、取締役会の任意の諮問機関として「指名報酬諮問委員会」を設置することといたしました。当委員会は、取締役会の決議により選任された3名以上(社内取締役1名、独立社外取締役2名以上)の委員で構成し、委員長は独立社外取締役である委員とします。そして当委員会では取締役会の諮問に応じて、取締役の選任・解任や取締役の報酬など、取締役会が必要と認めた経営上の重要事項について審議し、取締役会へ答申します。当社はこの「指名報酬諮問委員会」を通じて、取締役の指名・報酬等に関する手続きの公正性・透明性・客観性の強化を図り、コーポレート・ガバナンスの充実を目指してまいります。

Q 来期の業績について教えてください。

A 現時点では算定が困難な為、公表できるようになりましたらご案内します。

世界経済、国内経済ともに新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、先行きが不透明な状態は当面続くものと

みられます。
現段階では、その影響の及ぶ範囲と期間を合理的に見積もることが困難であることから、2021年3月期の業績予想につきましては公表を見送ることといたします。当該業績予想の開示は可能となった時点であらためて実施する予定です。

Q 株主還元の状態など株主様へのメッセージをお願いします。

A 1株当たり30円の期末配当を実施させていただきました。

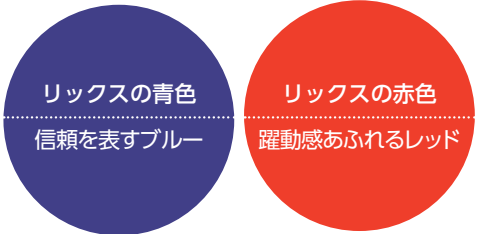
当期末配当金につきましては、1株当たり30円の配当を実施させていただきました。これにより中間配当を合わせた年間配当金は、1株当たり60円となりました。なお当社では、次期の業績見通しを未定とさせていただいていることから、次期の配当につきましても現段階では未定とさせていただきます。株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

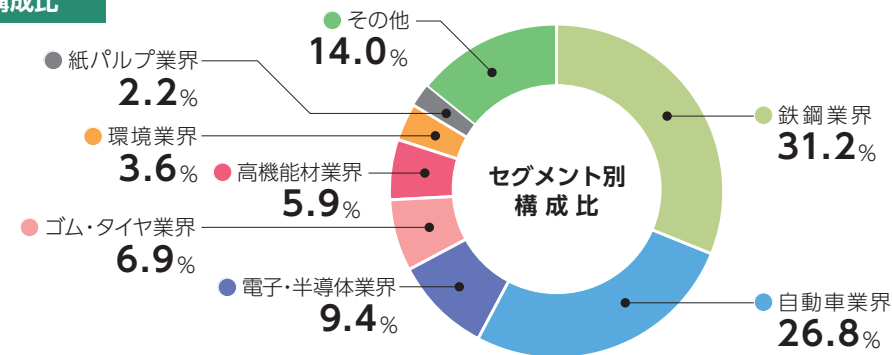
培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY(工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性

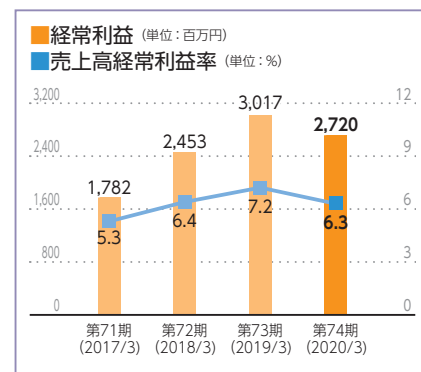
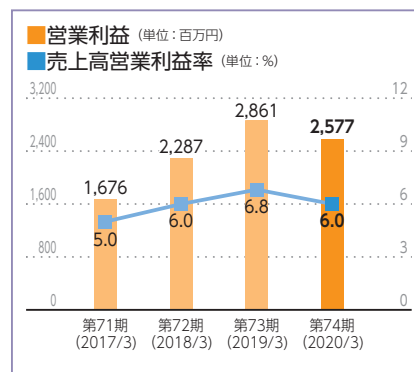
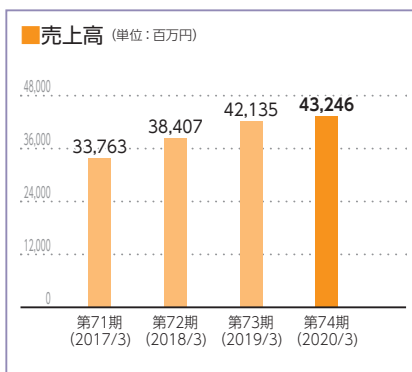


セグメント別構成比



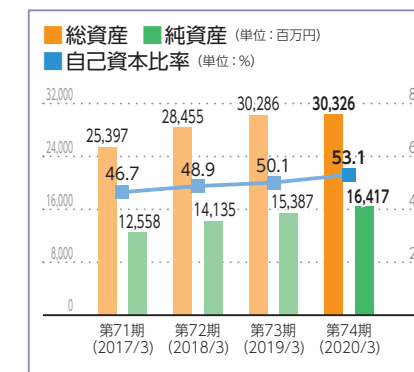
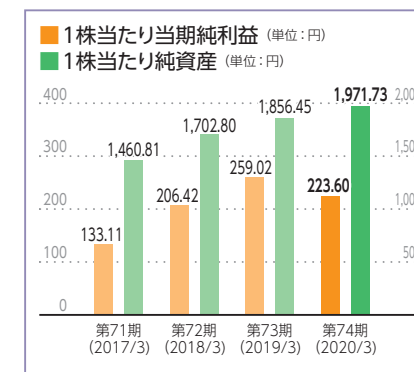
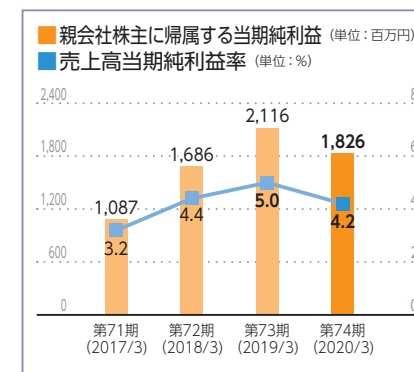
連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	前期 (2019年3月31日現在)	当期 (2020年3月31日現在)	科目	前期 (2019年3月31日現在)	当期 (2020年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	23,485	24,102	流動負債	13,547	12,600
固定資産	6,800	6,224	固定負債	1,350	1,309
有形固定資産	3,097	3,019	負債合計	14,898	13,909
無形固定資産	118	135	純資産の部		
投資その他の資産	3,585	3,069	株主資本	14,536	15,832
資産合計	30,286	30,326	資本金	827	827
			資本剰余金	1,057	1,057
			利益剰余金	13,059	14,355
			自己株式	△407	△407
			その他の包括利益累計額	631	277
			非支配株主持分	219	307
			純資産合計	15,387	16,417
			負債・純資産合計	30,286	30,326



連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	前期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	当期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	42,135	43,246
売上原価	32,706	33,957
売上総利益	9,429	9,289
販売費及び一般管理費	6,567	6,711
営業利益	2,861	2,577
営業外収益	186	173
営業外費用	30	31
経常利益	3,017	2,720
特別利益	3	7
特別損失	18	83
税金等調整前当期純利益	3,001	2,644
法人税等	867	797
当期純利益	2,133	1,847
非支配株主に帰属する当期純利益	17	20
親会社株主に帰属する当期純利益	2,116	1,826



連結包括利益計算書 (単位: 百万円)

科目	前期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	当期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
当期純利益	2,133	1,847
その他の包括利益	△405	△377
その他有価証券評価差額金	△338	△300
為替換算調整勘定	△60	△22
退職給付に係る調整額	△5	△52
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△2
包括利益 (内 訳)	1,728	1,470
親会社株主に係る包括利益	1,730	1,460
非支配株主に係る包括利益	△1	10

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	前期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	当期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,839	2,285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△470	△275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△421	△550
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	△20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	904	1,439
現金及び現金同等物の期首残高	3,403	4,307
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	128
現金及び現金同等物の期末残高	4,307	5,875

当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業は少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な経営課題となっております。

当社グループは、2018年度より中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

戦略ビジョン2020

2018年度～2020年度

ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップさせながら、新製品開発・新事業開発・新市場開発を推進し、新しい高付加価値を創り出します。その高付加価値を、各々の業界分野のナンバーワン顧客企業に、適時にまた安定して、世界中どこにでも、提供できるグローバルニッチトップの開発型企業集団を目指します。

目標

経常利益(連結)
30億円
の達成

方針

1. メーカー商社のビジネスモデルの更なる進化

- ① 開発機能の強化(製品、商品、市場)
- ② 顧客接点でのPDCAのスピードUP
- ③ メンテナンス機能・品質保証機能の強化

2. グローバル展開の加速

- ① 自社・ブランド商品の世界販売加速
- ② グローバルニッチトップ商品の開発強化
- ③ 中国・北米・欧州の事業強化

3. リックスグループとしての協業強化

- ① グループにて戦略の統一性
- ② 事業機能集約による最適化・オンリーワン化
- ③ 統括機能の強化(各社GNTを目指す)

4. 人と組織の能力向上

- ① 人事・教育制度の根本的な見直し
- ② 営業支援システムの刷新
- ③ CSR強化

「ものづくりの挑人たち」リックス紹介映像放映のお知らせ

2020年3月、さまざまな分野で挑戦を続ける挑人たちと、その商品やサービスを紹介するBSテレ東の番組、「ものづくりの挑人たち」(<https://choujin.jp/>)に、リックスの紹介映像が放映されました。



紹介映像 <https://youtu.be/veG6VDwgZ8Q>



スマートフォンからも
ご覧いただけます。



「福岡春日シーキャッツ」を支援しています

リックスは2018年度から、バレーボールチーム「福岡春日シーキャッツ」を支援しています。「福岡春日シーキャッツ」は、福岡県内のバレーボールの普及と発展を目指し、2018年に設立された球団です。

国民体育大会にも福岡県代表として、「福岡春日シーキャッツ」の選手が出演しています。バレーボールの普及と発展のため、次世代育成のためにバレーボール教室等も積極的に行っています。

福岡春日シーキャッツ
FUKUOKA KASUGA SeaBats HP <https://seacats.jp/wp/>

過去の成績

- 2018年度 全日本6人制バレーボールクラブカップ選手権大会地区予選 優勝
- 2018年度 全日本6人制バレーボールクラブカップ選手権大会 準優勝
- 2019年度 全日本6人制バレーボールクラブカップ選手権大会地区予選 優勝
- 2019年度 第10回6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会 7位 等



▶ 海外ネットワーク

(2020年3月31日現在)



▶ 事業所

(2020年3月31日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク網

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。

本社	★管理本部、企画本部、事業開発本部、海外事業本部
営業本部	■営業本部
営業所	●自動車事業部 豊田営業所、西尾営業所 ●鉄鋼事業部 鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所、東海営業所、和歌山営業所 ●東部営業部 苫小牧営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、西東京営業所、横浜営業所、平塚営業所、富士営業所、名古屋営業所、北陸営業所、豊橋営業所、四日市営業所 ●西部営業部 滋賀営業所、大坂営業所、加古川営業所、倉敷営業所、広島営業所、福山営業所、周南営業所、四国営業所、北九州営業所、福岡営業所、長崎営業所、大分営業所、熊本営業所、鹿児島営業所
工場	■生産本部
研究・開発所	▲技術開発センター ▲中部テクニカルセンター ▲横浜事業所 ダンフォースGr・アクア膜Gr



▶ 会社概要

(2020年3月31日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 412名(連結645名)
- 主要な事業内容 高圧圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

▶ 取締役および監査等委員である取締役

(2020年6月25日現在)

代表取締役社長 安井 卓	取締役 伊佐 清人
代表取締役副社長 柿森 英明	取締役 田原 俊二
専務取締役 川久保 昇	取締役(常勤監査等委員) 坂本 克彦
常務取締役 苅田 透	取締役(監査等委員) 小西 正純(*)
常務取締役 芹川 康介	取締役(監査等委員) 植松 功(*)
取締役 橋本 忠	取締役(監査等委員) 大山 一浩(*)
取締役 江頭 裕明	
取締役 多々良 浩昭	

(*) 社外取締役

▶ 株式の状況

(2020年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 6,819名
- 大株主(上位10名)

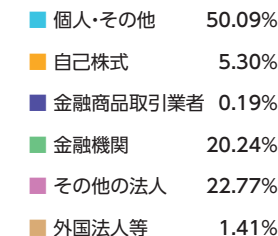
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	14.27
安井玄一郎	394	4.82
株式会社西日本シティ銀行	382	4.68
リック取引先持株会	330	4.04
リック従業員持株会	234	2.86
安井龍之助	207	2.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	201	2.47
園田和佳子	171	2.09
山田貴広	166	2.04
株式会社三菱UFJ銀行	152	1.86

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 当社は自己株式457千株を保有しております。

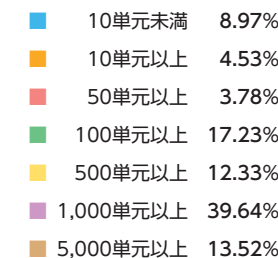
▶ 株式分布状況

(2020年3月31日現在)

所有者別株式分布状況

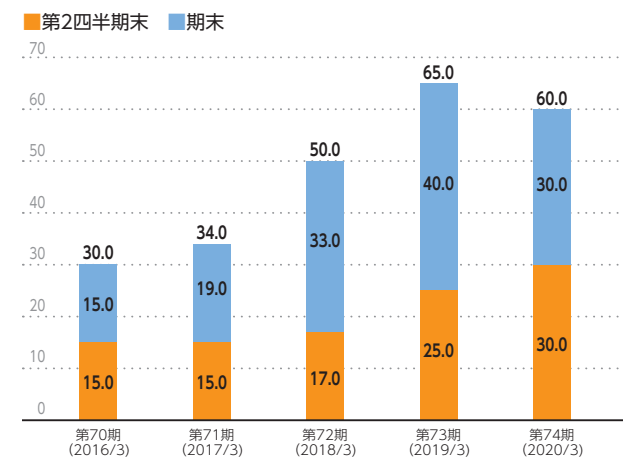


所有株数別株式分布状況



▶ 1株当たり配当金の推移

(単位: 円)



注) 2021年3月期の配当につきましては、未定としております。

株主メモ

- ◆ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◆ 定時株主総会 毎年6月
- ◆ 配当金受領
株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- ◆ 株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◆ 株式に関する各種手続の申込先について
・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。
ただし、特別口座に登録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ◆ 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)
- ◆ 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載
URL <https://www.rix.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。
- ◆ 単元株式数 100株
- ◆ 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

- 割当基準日 3月31日
- 優待内容
 - 100株以上300株未満所有の株主様
⇒ クオカード1,000円分
 - 300株以上500株未満所有の株主様
⇒ クオカード2,000円分
 - 500株以上1,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード3,000円分
 - 1,000株以上10,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード4,000円分
 - 10,000株以上所有の株主様
⇒ クオカード10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<https://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索 

